

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3	学年	1
学科 ・ コース	普通科 特進コース、看護医療進学コース、英語コース						
教科書	CROWN English Communication I		副 教 材	速読英単語 入門編			
科目 の 概 要	英語コミュニケーションIとは、「聞くこと」「話すこと(やり取り、発表)」「読むこと」「書くこと」という4技能5領域の力を養う授業で、聞いたり読んだりしたことを基に情報を共有したり、考えを話したり書いたりする幅広い言語活動を行う。 コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加え、豊かな文化観と適切な国際理解のための資質・能力を養うことを目標とする。また英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。			評価 の 観 点	<p>【 知識・技能 】</p> <p>外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>【 思考・判断・表現 】</p> <p>日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解し、これらを活用しながら適切に表現できている。</p> <p>【 主体的に学習に取り組む態度 】</p> <p>背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p>		
				評価 方 法	<p>学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。</p> <p>・定期考査(計5回) ・小テスト(単語など) ・ライティング課題 ・プレゼンテーション ・授業への取り組み など</p>		
	<p>1 学期</p> <p>Lesson1 [言語・日本文化] 不定詞・動名詞</p> <p>Lesson2 [生き方・生活] 現在完了・助動詞</p> <p>Lesson3 [芸術・国際交流] 関係代名詞・分詞・受動態</p> <p>2 学期</p> <p>Lesson4 [歴史・日本文化] 過去完了・関係代名詞(what)・SVO (O=疑問詞節 / if 節)</p> <p>Lesson5 [環境・共生] 分詞構文・形式主語・同格</p> <p>Lesson6 [科学技術] 関係副詞・SVOC (C=原形不定詞 / 分詞)</p> <p>3 学期</p> <p>Lesson7 [自然・異文化] seem to / It seems that ・S is C (C=that 節) ・SVC (C=分詞)</p> <p>Lesson8 [平和・歴史] 仮定法過去・SVO₁O₂ (O₂=疑問詞節) ・付帯状況の with</p>			学 習 方 法	<p>適切なコミュニケーション力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。またそれらを別々に切り離して覚えるのではなく、学んだ単語と文法、表現を組み合わせ、文として発音するなど、常に英語をコミュニケーションのツールとして捉えるよう心掛けること。</p>		
			備 考	<p>使用教材、授業進度については変更の可能性はある。</p>			

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3	学年	1
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース、幼児教育コース、スポーツコース、音楽コース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	MY WAY English Communication I		副教材	DataBase3300			
科目の概要	<p>英語コミュニケーション I とは、「聞くこと」「話すこと(やり取り、発表)」「読むこと」「書くこと」という4技能5領域の力を養う授業で、聞いたり読んだりしたことを基に情報を共有したり、考えを話したり書いたりする幅広い言語活動を行う。</p> <p>コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加え、豊かな文化観と適切な国際理解のための資質・能力を養うことを目標とする。また英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。</p>			評価の観点	<p>【知識・技能】</p> <p>外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>日常的・社会的な話題について、外国語で概要や 要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p>		
	授業内容	<p>1 学期</p> <p>Lesson1 現在形・過去形/進行形/ SV0(O=that 節)</p> <p>Lesson2 助動詞 / 受け身 / 助動詞+受け身</p> <p>Lesson3 動名詞 / to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to 不定詞の形容詞的用法</p> <p>2 学期</p> <p>Lesson4 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形</p> <p>Lesson5 関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what / It is ... to 不定詞</p> <p>Lesson6 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is ... that</p> <p>3 学期</p> <p>Lesson7 関係副詞 where / 関係副詞 when /関係副詞 why / 比較級・最上級</p> <p>Lesson8 条件を表す if 節 / 仮定法過去 /I wish ~ /as if ~</p> <p>Lesson9 SV0I02(O2=how to~) /SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞)</p>			評価方法	<p>学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(計5回)・小テスト(単語など) ・ライティング課題 ・プレゼンテーション ・授業への取り組み など 	
			学習方法	<p>適切なコミュニケーション力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。またそれらを別々に切り離して覚えるのではなく、学んだ単語と文法、表現を組み合わせ、文として発音するなど、常に英語をコミュニケーションのツールとして捉えるよう心掛けること。</p>			
				備考	<p>使用教材、授業進度については変更の可能性はある。</p>		

教科	外国語科	科目	論理・表現 I	単位数	3	学年	1
学科 ・ コース	普通科 特進コース、看護医療進学コース、英語コース						
教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced		副 教 材	EARTHRISE アースライズ英語 33 アースライズ英文法 アースライズワーク 33			
科目 の 概 要	論理・表現 I は、「話すこと(やり取り・発表)」「書くこと」という2技能3領域の力を中心に養い、発信力の強化に特化した科目で、英語コミュニケーション I と同様、ことばの知識・技能の習得に加え、豊かな文化観と適切な国際理解のための資質・能力を養うことを目標とする。また英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。			評価 の 観 点	<p>【 知識・技能 】</p> <p>外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>【 思考・判断・表現 】</p> <p>日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。</p> <p>【 主体的に学習に取り組む態度 】</p> <p>背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p>		
				評価 方 法	<p>学習内容に応じて上記の3つの評価の観点を適切に配分し評価する。</p> <p>・定期考査(計5回) ・小テスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 ・授業への取り組み など</p>		
	<p>1学期 Lesson1～7 〔文の要素・時制〕</p> <p>2学期 Lesson8～14 〔準動詞・比較・助動詞・受け身・仮定法〕</p> <p>3学期 Lesson15～17 〔関係詞・接続詞・否定〕</p>			学 習 方 法	<p>適切な表現力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。</p>		
授 業 内 容				備 考	<p>使用教材、授業進度については変更の可能性はある。</p>		

教科	外国語科	科目	論理・表現 I	単位数	3	学年	1
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース、幼児教育コース、スポーツコース、音楽コース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	APPLAUSE English Logic and Expression I		副教材	LISTENING TRIAL Stage1 APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I Workbook			
科目の概要	論理・表現 I は、「話すこと(やり取り・発表)」「書くこと」という 2 技能 3 領域の力を中心に養い、発信力の強化に特化した科目で、英語コミュニケーション I と同様、ことばの知識・技能の習得に加え、豊かな文化観と適切な国際理解のための資質・能力を養うことを目標とする。また英語を学ぶことを通して多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力と、多角的に物事を捉え、異なる価値観を受け入れる力を培う。			評価の観点	<p>【 知識・技能 】</p> <p>外国語の音声や語彙、文法の理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面により適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>【 思考・判断・表現 】</p> <p>日常的・社会的な話題について、外国語で概要や要点、話し手の意図を理解したり、これらを活用し適切に表現できている。</p> <p>【 主体的に学習に取り組む態度 】</p> <p>背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手に配慮しながら、主体的かつ自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p>		
	1 学期 1～4 課 [時制・助動詞・完了] 2 学期 5～10 課 [受け身・比較・準動詞] 3 学期 11～14 課 [関係詞・仮定法・接続詞]			評価方法	<p>学習内容に応じて上記の 3 つの評価の観点を適切に配分し評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 (計 5 回) ・小テスト ・プレゼンテーション ・ライティング課題 ・授業への取り組み など 		
				学習方法	適切な表現力の養成のため、語彙(発音を含む)、文法、表現などのインプット作業を家庭学習として習慣づける。		
授業内容				備考	使用教材、授業進度については変更の可能性はある。		